

2022年1月20日(木) 毎日新聞 朝刊

自民、公明両党が 議員定数9減案

神戸市議会検討会

神戸市議会の制度改革検討会で18日、最大会派の自民党と第2会派の公明党は69から60への議員定数削減案を示した。人口減少が進んでおり、同じ政令市の福岡、川崎市と水準を合わせることを理由とした。対象の選挙区は明らかにしなかった。

日本維新の会は東灘、北区などで計4減、共産党は2007年以前の72に戻すことを主張し、立憲民主党は「削減を含めて検討中」とした。2月の検討会で引き続き協議する。

議員任期の開始に合わせて、議会開会を6月から5月にする変更案は全会派で一致。2023年から適用される見通しとなった。

【山本真世】